

# 時給制が安全にも寄与

## 中田商事 荷待ち時間大幅減

中田商事（中田純一社長、三重県伊賀市）では、昨年10月に給与

体系を、デジタコと人事考課を基準とした時給制にシフトした。法令を順守したうえで、ドライバーにとっての安心と、会社にとってのリスクヘッジの意味合いがあるというが、

それに加え「安全に寄与する面も大きい」と中田社長は話す。

同社の給与計算は、乗務員の労働時間にS



中田社長

からDまで5段階の評価をかけた合わせて算出。そうすることで、

ただ単に長時間働けば所得が上がるという不具合が起きないようにしているのだ。また、荷主に対しても時給をベースに運賃見積もりを設定し交渉。明確な数値で示されているこ

とから、「高いと言われることもあるが、根拠がある運賃なので無駄な値下げ要求はまったくくない」と話す。

こうした時間に重点を置いた運賃設定によって、「荷主もいかに効率よく運ぶか真剣に考えるようになった。何より荷待ち時間が大幅に減少した」とし、それが結果的に乗務員の負担軽減になり安全につながっているという。（加藤 崇）